

僕にとってカメラは楽器！

フジフィルム スクエア 企画写真展

「写真家・平間至の両A面」

アー写(アーティストの写真)/エー写(営業写真館の写真)



布袋寅泰 2012年 ©Itaru Hirama



2019年 ©Itaru Hirama

2022年6月10日(金)–6月30日(木)

会場：フジフィルム スクエア **入館無料**

■ 写真展の見どころ

- ① タワーレコードの「NO MUSIC, NO LIFE.」をはじめ、それまでにはない躍動感のある写真で新しいスタイルを打ち出した平間至が、30年以上にわたって撮影してきた膨大な写真から精選した、約100組のアーティストの写真を展示。
- ② 人生のハレの場、家族の記憶を紡ぐ場として、写真が大きな役割を果たすことを再認識させてくれる平間写真館TOKYOで撮影された営業写真館の写真も約60組展示。
- ③ 音楽から多大なインスピレーションを受けてきた平間至の、異なるジャンルでの写真をレコードの両A面に例え、フジフィルム スクエアならではの展示を実現。

■ 写真展概要

フジフィルム スクエアは、2022年6月10日(金)から6月30日(木)まで、「写真家・平間至の両A面」～アー写(アーティストの写真)/エー写(営業写真館の写真)～を開催致します。タワーレコードのキャンペーン「NO MUSIC, NO LIFE.」をはじめ数多くのアーティスト写真を撮影し、“音楽が聴こえてくるような躍動感あるポートレート”で写真界に新しいスタイルを打ち出したと評価される写真家・平間至。宮城県塩竈市に祖父が開業した写真館の三代目として生まれた平間にとって、さまざまなメディア掲載のために撮影したアーティストたちの写真と、東日本大震災後の2015年に東京で再生した平間写真館TOKYOでの活動は、そのどちらもが欠かせない「両A面」といえます。2020年写真家としての活動を開始してから30周年を迎え、また、震災から10年の節目となった2021年を経て、平間がこれまで撮影してきたアーティスト写真(アー写)、営業写真館の写真(エー写)から精選した約160点によって、平間にとっての「それぞれのA面」を音楽と写真への感謝を込めて展示します。

■ 開催概要

企画展名 : フジフィルム スクエア 企画写真展

「写真家・平間至の両A面」～アー写(アーティストの写真)/エー写(営業写真館の写真)～

開催期間 : 2022年6月10日(金)～6月30日(木)

10:00-19:00(最終日は14:00まで、入館は終了10分前まで) 会期中無休

※ 写真展はやむを得ず、中止・変更させていただく場合がございます。ウェブサイト・電話でご確認ください。

会場 : フジフィルム スクエア内、富士フィルムフォトサロン 東京 スペース1・2・ミニギャラリー
〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番3号(東京ミッドタウン・ウエスト)

TEL 03-6271-3351 URL <https://fujifilmsquare.jp/>

※ 写真展情報は、開催日の前月から富士フィルムウェブサイトにて、ご案内しています。



入館料 : 無料 ※ 企業メセナとして実施しており、より多くの方に楽しんでいただくために入館無料にしております。

作品点数 : フィルム/デジタルカメラ両方による撮影。カラー/モノクロ「銀写真プリント」約160点(予定)。
(展示作品には、「銀塩黑白印画紙」と、富士フィルムの「銀写真プリント」を使用。)

主催 : 富士フィルム株式会社

協力 : タワーレコード株式会社、平間写真館TOKYO

企画 : コンタクト

■ 平間 至 (ひらま いたる) プロフィール

1963年、宮城県塩竈市に生まれる。日本大学芸術学部写真学科を卒業後、写真家・伊島薫氏に師事。1996年からタワーレコード「NO MUSIC, NO LIFE.」のキャンペーンポスターをはじめ、多くのミュージシャンの撮影を手がける。2006年よりゼラチンシルバーセッションに参加。2008年より「塩竈フォトフェスティバル」を企画・プロデュース。2012年より塩竈にて、音楽フェスティバル「GAMA ROCK FES」を主宰。2015年1月、東京・世田谷の三宿に平間写真館TOKYOをオープン。



2021年 ©Itaru Hirama

■ 写真展関連プログラム

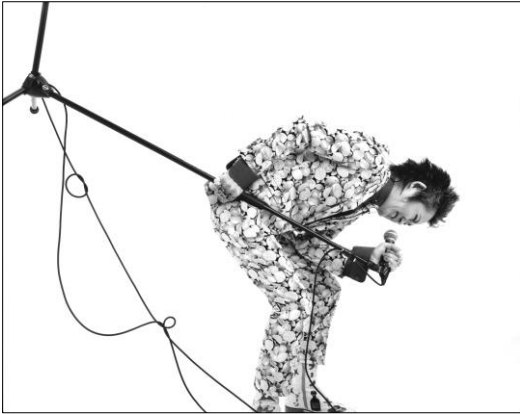
展示期間中に、「写真家によるギャラリートークムービー」を公開する予定です。

展示初日以降、フジフィルム スクエアのウェブサイト内「写真展の鑑賞ガイド」に掲載予定です。

URL <https://fujifilmsquare.jp/interview/>



■ 出展作品の一部(予定)



忌野清志郎 2008年 ©Itaru Hirama



Mr. Children 2017年 ©Itaru Hirama



2020年 ©Itaru Hirama



2021年 ©Itaru Hirama

【写真使用についてのお願い】

- ①本写真展の告知以外にはご使用にならないでください。また、使用終了後は、写真データを破棄ください。
- ②トリミングはお控えください。 ③クレジット表記がある場合は明記ください。 ④写真の上に文字は載せないでください。

FUJIFILM SQUARE

写真を中心とする富士フィルムのフォトギャラリー&ショップ。入館無料で、どなたでもお気軽にご覧いただけます。クオリティの高いさまざまなジャンルの写真を展示する富士フィルムフォトサロン、写真とカメラの歴史を学べる写真歴史博物館の他、最新の富士フィルム製品をご体験いただけるコーナー、さらには、スキンケア・サプリメント商品の販売を行うショップもあり、幅広い層の方にお楽しみいただける施設です。年中無休(年末年始を除く)、入館無料。



THIS IS MECENAT
2021

富士フィルムフォトサロンは、2021年、公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECENAT 2021」の認定を受けております。